

館市農業委員会だより

●発行／大館市農業委員会 ●所在地 大館市字三ノ丸13-19
☎0186-43-7129



家族連れでにぎわう大館ラベンダーまつり（立花）



田園タクシーで「田の中公園」を一周

ラベンダーの香りにつつまれて

去る七月七日・八日の両日、農事組合法人立花ファーム（立花地区）の農場内にある「田の中公園」で「大館ラベンダーまつり」が開催されました。

園内では、ラベンダーの摘み取り体験や、トラクターを利用した田園タクシーの運行もあり、家族連れでにぎわいました。

立花のラベンダーは、農道脇のプランターに植えられており、全国的にも珍しい形式のラベンダー園だということです。

このまつりの主催者である「立花農業盛り上げ隊」は立花地区の住民で構成され、その中でも女性メンバーが地元立花の素材を生かしてさまざまな試作を重ね、特産品開発にチャレンジしています。

まつり当日は、その成果であるラベンダーのポプリ、ブラックベリーのゼリーやお餅などの販売もあり、来場者から好評を得ていました。

TPP交渉への

参加に反対



大館市農業委員会
会長 糸屋 由衛門

消費税増税や原発再稼働などの問題の陰に隠れて、最近あまり目立たなくなっているTPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加問題ですが、「今月（八月）末までにTPPへの参加表明をするのではないか」との一部報道もあるなど、予断を許さない不透明な情勢となっております。

TPPは農業だけの問題ではありません。二十一分野にわたる広範かつ総合的な協定であり、食品安全や金融サービス、投資、医療、環境、

労働等多くの分野で悪影響を及ぼすことが懸念されています。私たちの暮らしを大きく変え、地域経済・地域社会が崩壊しかねない問題であると考えます。

農業委員会は、TPP交渉参加に一貫して反対です。昨年十一月、市長に提出した「農業施策に関する建議書」においても、TPPに参加しないよう政府に対して働きかけを強めていただきました。東日本大震災からの復興に全力で取り組んでい

る最中、原発事故問題が終息の糸口すら見えない状況で、TPPに参加することは復興に逆行するものであり、TPPと復興はまったく両立しないと考えます。

また、TPP交渉参加国から求められている正確な情報の開示が不十分な状況で、国益の視点が立った国民的な議論ができないまま、なし崩し的に交渉参加することは断じて認められません。

TPPのような極端な協定ではなく、世界各地の多様な風土の中で営まれている農業を各国が互いに尊重し、共存共栄が図られる貿易ルールづくりが重要と考えます。

TPP不参加という結論が得られるよう、農関係団体等と連携を図りながら運動を展開してまいります。と考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆さんの地域の「人と農地の問題」について考えてみませんか

市では、それぞれの集落・地域において徹底的な話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成を支援しています。

人・農地プラン（地域農業マスタープラン）作成のメリット

- 人・農地プランは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。集落や地域における話し合いによって、次のことを決めていただきます。
 - 今後の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
 - 中心となる経営体へどうやって農地を集めるか
 - 中心となる経営体とそれ以外の農業者（兼業農家、自給的農家）を含めた地域農業のあり方（生産品目、経営の複合化、6次産業化）
- 人・農地プランに位置付けられると、さまざまな支援を受けることができます。
 - 青年就農給付金（経営開始型）
 - 農地集積協力金（中心となる経営体に農地を提供する方）
 - スーパーL資金の当初5年間無利子化（認定農業者）
- 人・農地プランは、随時、見直すことができます。一旦プランを決めても、新規就農者が新たに出てきたときや新たに集落営農・法人を立ち上げ中心となる経営体となるとき、引退を決意して農地集積協力金をもらおうとするときなどは、見直せば、2の支援を受けられます。

※人・農地プランに関するお問い合わせは、市農林課農業経営係（Tel 43 - 7073）まで。

農業委員の任務分担

(平成24年7月20日～平成25年7月19日)

会長 糸屋 由衛門 (公選・中山)

会長職務代理者 安部 幸美 (公選・餅田2区)

| | | |
|----------|---|--|
| 総務小委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会委員選挙人名簿登録申請書の審査 ・ 農業委員会だよりの発行と農家意向調査 ・ 農政の推進に関する意見の公表と建議 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会の活動と事業計画 ・ 農政情報の提供と農政課題に対するの諮問と答申 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎北村 鉄正 (公選・味噌内下) 畠山 秀義 (公選・板戸) 田村 秀雄 (学識・田茂の木) 小丹波 潔 (公選・独鉦) 畠山 米藏 (公選・松峰) 田村 光弘 (公選・沢尻) | <ul style="list-style-type: none"> ○畠山 豊実 (公選・別所) 山内 俊幹 (公選・中羽立) 伊藤 昇 (公選・小館花) 佐藤 光明 (共済・出口2) 富樫 英悦 (公選・板沢) |
| 農業振興小委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲の作柄調査の実施 ・ 農作業標準賃金の策定 ・ 経営知識普及、簿記、指導事業 ・ 優良農地の確保と有効利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者年金事業の推進 ・ 農業の担い手と法人化などの組織育成活動 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎高橋 宏 (公選・繋沢) 齋藤 一子 (公選・田の沢) 三浦 昭男 (公選・商人留) 岸 喜一 (公選・笹館) 菅原 久隆 (公選・羽立) 花田 昭治 (公選・深岱) | <ul style="list-style-type: none"> ○渡邊 久雄 (公選・五日市) 虻川 良逸 (公選・山田渡) 小林 大樹 (公選・小坪川原) 渡辺 一博 (学識・向田) 虻川 一美 (農協・櫃崎) |
| 農地調整小委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法 (農地の売買、集積、あっせん、転用等) 関係業務 ・ 競売適格証明書交付申請の審査と処理 ・ 耕作放棄や遊休農地の調査と解消対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作証明書の発行 ・ 農地紛争の処理 ・ 現況非農地証明書の交付及び処理 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◎芳賀 佐助 (公選・比内前田) 角田 利秋 (公選・鉄砲場) 小笠原 恒義 (公選・外川原) 畠山 清俊 (改良区・五日市) 畠山 薫 (公選・曲田) | <ul style="list-style-type: none"> ○石垣 忠廣 (公選・小茂内) 菅原 和久 (公選・釣田) 石山 元一 (公選・赤坂) 石代 博 (公選・長走) 花田 京子 (学識・新館) |

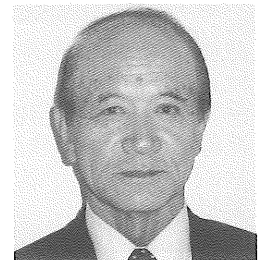
【◎は委員長、○は副委員長】

農業委員の交代について

農協推薦の農業委員が平成24年6月28日より、高松忠芳委員から、虻川一美委員に交代しました。

高松委員には平成21年7月から3年間務めていただいたことに感謝申し上げます。

虻川委員には、今後よろしくお願ひいたします。



虻川 一美 委員
〔農協推薦・櫃崎〕

総会開催・申請受付日程

大館市農業委員会では、毎月1回総会を開催しています。農地の売買、貸し借り、転用等をしようとする方は、受付締切日までに農業委員会に申請書を提出してください。

平成24年9月から25年7月までの農業委員会総会の開催予定は、次のとおりです。

| 総会開催予定日 | 各種申請届出受付締切日 | 転用等現地調査日 | 開催場所 |
|---------------|-------------|-----------|---------------------|
| 平成24年9月7日(金) | 8月20日(月) | 8月24日(金) | 比内総合支所3階 301大会議室 |
| 平成24年10月4日(木) | 9月20日(木) | 9月24日(月) | |
| 平成24年11月6日(火) | 10月19日(金) | 10月24日(水) | |
| 平成24年12月7日(金) | 11月20日(火) | 11月26日(月) | |
| 平成25年1月8日(火) | 12月20日(木) | 12月26日(水) | |
| 平成25年1月28日(月) | 1月15日(火) | 1月17日(木) | |
| 平成25年3月8日(金) | 2月20日(水) | 2月25日(月) | |
| 平成25年4月5日(金) | 3月19日(火) | 3月25日(月) | |
| 平成25年5月7日(火) | 4月19日(金) | 4月24日(水) | |
| 平成25年6月5日(水) | 5月20日(月) | 5月24日(金) | |
| 平成25年7月5日(金) | 6月20日(木) | 6月25日(火) | |

※開催日及び開催場所は、変更になる場合があります。

全国農業新聞

発行：毎週金曜日・自宅直送
B3版8～10ページ

購読料：月600円（送料とも）

農業者年金

しっかり積み立て、がっちりサポート
安心して豊かな老後を

- ・農業に従事する方なら広くご加入いただけます。
- ・保険料の額は、自由に決められます。
- ・終身年金で、80歳までの保証付きです。
- ・公的年金ならではの税制上の優遇措置があります。

農地パトロールを実施します

農業委員会では、遊休農地の解消、違反転用の発生防止と早期発見のため、すべての農地を対象として農地パトロール（利用状況調査）を実施します。

農業委員が各地域を巡回し、お話を伺うこともありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

農地を相続したときは届出を

相続により農地を取得したときは、農業委員会に届出をお願いします。

農地の貸し借り、売買や転用の申請に関するご相談、農業新聞の購読の申し込みや農業者年金に関するお問い合わせは、

大館市農業委員会事務局（電話 43-7129）までお寄せください。